



2019 年度小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目 (Ⅱ)

音 楽

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験運営大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 運営大学名、氏名、受験番号、受験科目を2019年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから50分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) 
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) 

以下の問いにおいて「小学校学習指導要領」とは、「[小学校学習指導要領]（平成 29 年 3 月文部科学省告示）第 2 章 第 6 節 音楽」を指すものとする。

問 1 次の文は「小学校学習指導要領」の「第 1 目標」に示されているものの前段部分である。空欄①、②に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な を働かせ、生活や社会の中の と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

<input type="text" value="①"/>	<input type="text" value="②"/>
ア 感性	音や音楽
イ 感性	音楽活動
ウ 見方・考え方	音や音楽
エ 見方・考え方	音楽活動

問 2 次の文は「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」〔第 3 学年及び第 4 学年〕の「1 目標」〔2〕に示されているものである。空欄 に当てはまる語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

音楽表現を考えて表現に対する をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。

ア 思い イ 思いや意図 ウ 発想 エ イメージ

問 3 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」〔第 5 学年及び第 6 学年〕の「2 内容」の「B 鑑賞」〔1〕のイに示されているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 曲想及びその変化と、作曲者の思いや意図との関わりについて理解すること。
- イ 曲想及びその変化と、想像される情景との関わりについて理解すること。
- ウ 曲想及びその変化と、演奏の在り方との関わりについて理解すること。
- エ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。

問 4 次の文は「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」〔第1学年及び第2学年〕の「2 内容」の「A 表現」〔(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。〕のアに示されているものである。空欄 に当てはまる語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、 表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつこと。

ア 曲想を感じ取って

イ 楽曲の気分を感じ取って

ウ 歌詞を生かして

エ 拍の流れを感じて

問 5 次の文は「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」〔第1学年及び第2学年〕の「2 内容」の「A 表現」〔(2)の「ウ 思いに合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。〕の(ウ)に示されているものである。空欄 に当てはまる語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(ウ) 互いの楽器の音や を聴いて、音を合わせて演奏する技能

ア 伴奏

イ 響き

ウ リズム

エ 拍の流れ

問 6 次の文章は「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」〔第3学年及び第4学年〕の「2 内容」の「A 表現」〔(3) 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。〕のイに示されているものである。空欄 に当てはまる語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くこと。

(ア) いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴

(イ) 音やフレーズの の特徴

ア 強弱の付け方

イ つなげ方や重ね方

ウ 音色

エ リズムや旋律

問10 次の文章は「小学校学習指導要領」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」2の(8)において「〔共通事項〕に示す『音楽を形づくっている要素』について」述べられているものである。空欄 に当てはまる語句を、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

各学年の〔共通事項〕に示す「音楽を形づくっている要素」については、児童の発達の段階や指導のねらいに応じて、次のア及びイから適切に選択したり関連付けたりして指導すること。

ア 音楽を特徴付けている要素

音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズなど

イ 音楽の仕組み

反復、、変化、音楽の縦と横との関係など

ア 拍子

イ 曲の山

ウ 呼びかけとこたえ

エ 対照

問11 楽語とその意味の組合せとして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア dolce 柔らかく

イ pesante 優雅に

ウ sostenuto 音を十分に保って

エ diminuendo 次第に弱く

問12 二長調の下属調の平行調を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 口長調

イ ホ短調

ウ ハ短調

エ ヘ長調

問13 作曲家の生年が早い順から正しく並んでいるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。


ア バッハ ⇒ パレストリーナ ⇒ モーツァルト ⇒ ドヴォルザーク


イ ストラヴィンスキー ⇒ バッハ ⇒ ベートーヴェン ⇒ ショパン


ウ バッハ ⇒ ベートーヴェン ⇒ ブラームス ⇒ パレストリーナ


エ ヘンデル ⇒ モーツァルト ⇒ ショパン ⇒ ラヴェル

問14 ト短調の旋律(的)短音階を示したものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 

イ 

ウ 

エ 

問15 E7のコードネームと一致するものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア イ ウ エ



問16 次のア～エの各文のうち、正しいものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 滝廉太郎は、フランスのパリ音楽院に留学した。
- イ 滝廉太郎が作曲した《荒城の月》は、生まれ故郷の大分県竹田市の岡城址で過ごした情景を曲想に込めている。
- ウ 滝廉太郎が作曲した《花》は、組曲《四季》の中の一曲で作詞は土井晩翠である。
- エ 滝廉太郎が作曲した《花》《荒城の月》は、留学以前に作られたものである。

問17 山田耕筰が作曲した作品を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 《あわて床屋》
- イ 《おさるのかごや》
- ウ 《どんぐりころころ》
- エ 《花嫁人形》

問18 次の文章が示す楽器として適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

別名「親指ピアノ」と呼ばれるアフリカの楽器。箱の上に並んだ金属や竹の棒を親指で弾いて音を出す。

- ア タブラ
- イ カリンバ
- ウ サーランギ
- エ ウード

問19 シューベルト作曲《ピアノ五重奏曲「ます」イ長調 op. 114》の楽器編成として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ピアノ、フルート、オーボエ、ヴァイオリン、チェロ
- イ ピアノ、オーボエ、ヴァイオリン、チェロ、ギター
- ウ ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
- エ ピアノ、フルート、クラリネット、ホルン、コントラバス

問20 「サワリ」と呼ばれる日本伝統楽器特有の奏法が用いられる楽器を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 尺八
- イ 三味線
- ウ 能管
- エ 鼓